

## 府中刑務所見学 感想文

3期生 夜間主コース 修了生(本年度合格者) I

### 1 担当者のお話から分かったこと

#### (1) 施設について

府中刑務所は、とても広く、東京ドーム6個分の広さとのことでした。この施設の収容定数は2,842人ですが、現在は2,923人の受刑者が収容されており、過剰収容となっていることが分かりました。それでもかつてよりは、過剰収容の程度は緩和されており、6人部屋を8人で使うケースは減ってきているということでした。

過剰収容の問題は、物的設備であることから、タイムリーに施設のキャパシティと実際の収容者数とをマッチングさせることは困難だと思いました。

#### (2) 受刑者について

平均の刑期は2年7ヶ月であり、再犯回数は4.4回、暴力団関係者が約40%を占めていることが分かりました。

また、受刑者の平均年齢は47歳と上昇しており、少子高齢化の世相を色濃く反映していることが分かりました。

### 2 見学した実感

実際に施設内を歩いてみると、受刑者の施設は、思った以上に清潔で、テレビも薄型のもので置かれるなど充実していました。再び罪を犯してしまう人の中に高齢者が多いのは、彼らの再就職が難しく、刑務所自体が彼らのライフラインになっているのではないかと思います。

以上